

## 日本語教室校外学習 ～ 谷瀬の吊り橋～

実施日：平成 28 年 5 月 22 日（日）9:40 出発、16:30 解散

参加者：26 名（公民館職員さん 1 名・講師・スタッフ含む）

訪問先：十津川村の谷瀬の吊り橋、五條市新町

5 月 22 日（日）、午前 9 時 40 分、26 名の参加者を乗せたバスは檀原公民館をあとに、十津川村の「谷瀬の吊り橋」に向かいました。爽やかな五月の風を感じながら、奈良のローカル・スポットを探訪し、心に残る体験をすることができました。途中、吉野方面であった土砂崩れという山間色を感じながら、バスは迂回しましたが現地には 10 分遅れる程度でほぼ予定通りに到着しました。



谷瀬の吊り橋にて



吊り橋渡り

この吊り橋は、長さ 297m、日本最長の吊り橋で、54m 下を流れる十津川の眺めと、揺れる橋のスリルにキャーキャー叫びながら橋を渡る参加者が目立ちました。

帰りの車中で聞くと、フィリピンには似たような吊り橋があるそうですが、中国にはないそうです。バングラディッシュやイタリア、アメリカ出身の参加者からも「あんなに長くよく揺れる吊り橋は初めて！」という感想を述べていました。

午後からは、五條市新町へ移動しました。新町では、ボランティアの上田先生がガイドをつとめてくださり、丁寧に新町の歴史を説明してくださいました。参加者は、一生懸命に先生の話に耳を傾けていました。帰りに記入してもらったアンケートの質問「きょうはじめておぼえたにほん語は？」の回答に、「つりばし」「みちしるべ」「うがいろ」「どしゃくずれ」「くるまよい」など参加していなければ触れるチャンスがない言葉が書かれていました。

バスは、檀原市中央公民館に予定時間ぴったりの 16:30 に到着しました。「また来週から日本語の勉強頑張りましょう」と赤坂先生から挨拶があり、その後、解散となりました。



先生の説明に耳を傾ける参加者



五條市新町にて